



栃木県公共事業再評価 概要書

【県土整備部 河川事業】

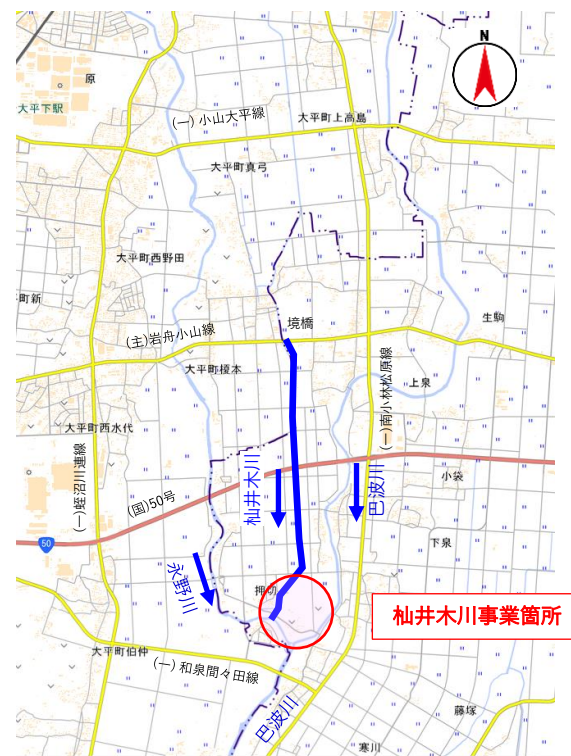
事業名	安全な川づくり事業
事業箇所	一級河川 杣井木川 小山市 ^{おしきり} 押切
事業主体	栃木県
事業担当課	県土整備部 河川課

I 事業の概要

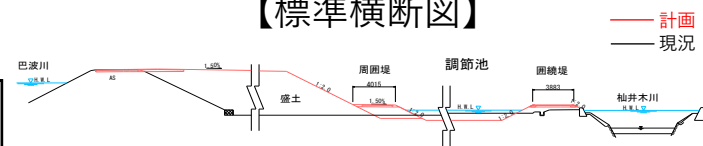
【事業概要】

目標事業期間 (変更前)	平成29年度～令和10年度 (平成29年度～令和8年度)		
事業経過	平成29年度 事業化 平成31年度 工事着手 令和5年度 事業再評価		
全体事業費 [うち用地補償費]	33.2 (23.0) 億円 [7.8 (5.6) 億円] ※ () は前回計画時		
事業内容 [うち整備済]	排水ポンプ5m ³ /s増強、調節池16万m ³ [排水ポンプ5m ³ /s増強]		
進捗率 [うち用地補償費]	基準年次：【令和6年度末時点】	費用	進捗率
	既投資事業費	13.4億円	40%
	[うち用地補償費]	0.5億円	6%

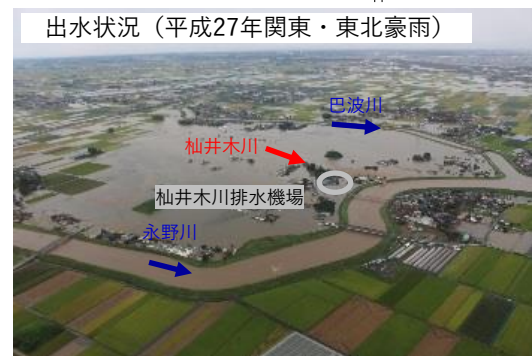
【事業概要図】



【標準横断図】



出水状況 (平成27年関東・東北豪雨)



【目的】

一級河川杉井木川は栃木市塚町を一級河川の上流端とし、小山市押切地内で一級河川永野川の左岸に合流する流路延長9.2km、流域面積約12km²の河川である。

杉井木川の流域は、巴波川と永野川の堤防に囲まれているため、永野川合流点に排水機場を整備し、大雨時には永野川の水位上昇に合わせて樋門を閉め、ポンプによる排水操作を実施している。しかし、ポンプの排水能力不足や河道の流下能力不足により、豪雨時には浸水被害が発生している。

このため、本事業は、排水機場のポンプ増設及び調節池の整備により、浸水被害の軽減を図ることを目的とする。

I 事業の概要

【箇所の概要】



凡例	
事業箇所	
整備済箇所	



II 事業の評価

【今後の事業進捗の見込み】

- ・ 事業期間の見直し
令和8年度 ⇒ 令和10年度
- ・ 総事業費の見直し
23.0億円 ⇒ 33.2億円

【全体事業費の見直し】

		前回計画 (R5年度)	今回計画
	事業費	23.0億円	⇒ 33.2億円 (+ 10.2億円)
内	工事費	17.4億円	⇒ 25.4億円 (+ 8.0億円)
訳	用地補償費	5.6億円	⇒ 7.8億円 (+ 2.2億円)

【事業の投資効果】

1 費用対効果分析結果

	B/C	総便益(B)	総費用(C)
(1)事業全体	4.3	156.0億円	36.5億円
(2)残事業	1.8	34.5億円	19.5億円

2 事業の整備効果等

- ・ 排水機場の排水能力増強及び調整池整備により、浸水面積が減少し、1/20規模でも家屋浸水がなくなる。

II 事業の評価

【事業の進捗状況等】

※令和6年度末時点

1 事業の進捗状況

全体事業進捗率	40%
用地	6%
工事	51%

2 今後の事業進捗の見込み

- 用地取得、工事を推進し、令和10年度を目標に事業完了を図る。

杉井木川排水機場 ポンプ増設

整備前

既設排水機場



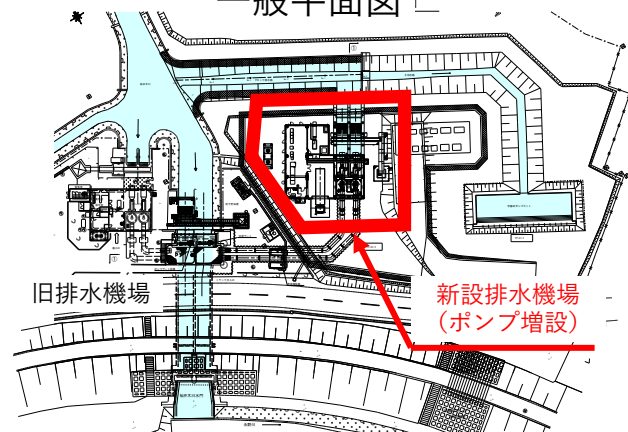
整備後

既設排水機場

新設排水機場
(ポンプ増設)



一般平面図



【コスト縮減等】

1 コスト縮減方策

- 計画において既存排水樋門の活用を図るとともに、調節池の掘削土砂を高台盛土材として活用し、コストの縮減を図る。

2 代替案立案等の可能性

- 本事業箇所は巴波川と永野川に囲まれ浸水しやすい地形であることから、河道拡幅より効率的に洪水の貯留や排水が可能な調節地の整備と排水機場のポンプ増設を組み合わせた本計画が最適である。

【事業の対応方針（案）】

- 本計画で事業を継続する。